

政権公約を棚上げし、予期しなかった 消費税増税に続き、年金の減額が国会を通過！

年金生活者の大きな問題である「社会保障と税の一体改革」関連法案が世論の反対を無視して三党合意のもと、8月10日の参議院本会議で可決され、消費税の10%増税が決まった。

私たちはこの間、退職者連合と共に高齢者に対する社会制度改革の要求を掲げ、政府・民主党への要請を行ってきました。

特に、政権公約してきた「後期高齢者医療制度の廃止」や「最低保障年金制度」の棚上げ状態の問題と「年金受給者の税負担の軽減」を強く求めてきました。

しかし、私たちの気持ちを無視して、解散の前日「特例水準」の解消による2.5%の“年金の減額”を通過させました。

年金の減額問題は、平成11年以降、物価が下落した際、年金生活者の生活を考慮し、政治判断で減額せず据え置いたのが「特例水準」であり、物価の上昇時に相殺することとしてきたのであります。

消費税反対！脱原発！憲法改悪反対！

この間の民主党政権は、党内の対立から大量脱退を招き、分裂状態に立ち至っている中で、長年にわたり自民党政府ですら手をつけなかったものを、選挙公約を無視して強行に実施する意図は何なのか？3年余り前の「国民の生活が第一」の姿勢はどこに行ったのか。改めて、今この時期に自らの「社会と生活」を考えて行動していきましょう。

第46衆議院議員選挙にJR貨物労組の 要求実現を図る候補者の当選に全力を挙げよう！